

ごとう通信

第96号

平成20年12月1日

もう年末ですよ！皆さん。早いものです。昔、僕の祖母が「知らないうちに正月が来た」などと口に出し、「何言ってるんだろう」などと思っていました。その心境が分かるようになりました。僕も年を重ねてきた証拠ですね。

さて、十二月一日は「ふれあい歯科 ごとう」の開業日です。冷たい雨の中、「本当に患者さんは来るんだろうか」と不安に思っていたものです。あれから五年、あつという間だったのですが、いろいろなこともありました。これからも多くの方たちとふれあえる場を目指して一日一日大切にしていきたいと思えます。これからもよ

ろしくお願いいたします。

そしてもう一つ、僕たち夫婦はこの十二月、ワクワクな企画があります。昨年に続きホノルマラソンへの挑戦です。右も左も分ならず、42キロという数字がどれほどのものかも分らず走った昨年とは違い、今年は10キロレースやハーフマラソン(21キロ)の経験もし、秋には少し走り込みもしました。もちろん記録や順位などはまったく気にしていませんが、やることをやって楽しみたいですものね。その意味ではこの一年の総決算です。

今回も仲間12名と行ってきます！年末の忙しい時にお休みを頂き恐縮ですが、よろしくお願いたします。

休診日 十三日(土)



十七日(水)

歯医者の方

「歯医者さんは器用じゃないとできないですね」だとか「歯医者さんじゃないと、歯科技工士さんがうまいところだったらいいのよね」という言葉を聞くことがあります。たしかに技術系の職業であることは間違いありませんし、器用な人にメリットのある職業でもあります。しかし、器用だから良い歯医者か、と言うとほとんど当てはまりません。そこはやっぱり「医者」ですから。

もし、むし歯削ってつめるという作業をするだけだったら高校を卒業して専門学校でひたすら削る練習すればきつと上手くなるでしょう。でも、歯医者の方はそのあたりまで